INAX

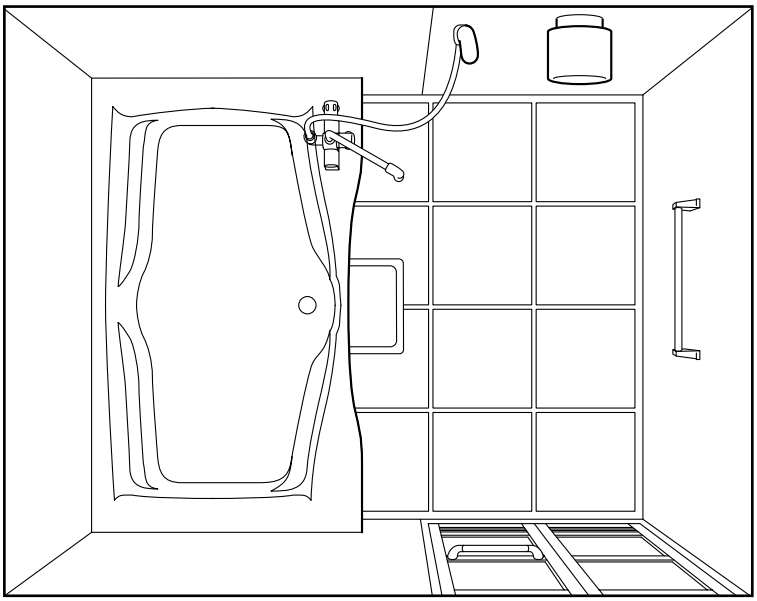
ユニットバスルーム

BYRWシリーズ

取扱説明書

対象品番

BYRW-1217 LBEL
LBSH
BYRW-1317 LBEL
LBSH



この度は当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。

このユニットバスルームを美しく、また快適にご愛用いただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。

※ 管理ナンバーシールは浴室ドア上部に張ってあります。
※ 本取扱説明書と水栓金具、機器類の取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところにまとめて保管してください。
※ 転居される場合、次に入居される方に、この取扱説明書をお渡しください。

もくじ

各部のなまえ …… 1
安全上のご注意（必ずお守りください） …… 4
使用時のご注意 …… 8
ご使用方法
- ドアについて …… 11
- 水栓について …… 13
- 排水栓について …… 17
- 風呂フタについて …… 17
- オプション機能
  - ランドリーパイプについて …… 18
  - 換気扇について …… 18
  - 浴室暖房機について …… 19
  - 換気乾燥暖房システムについて …… 20
  - ポンプ内蔵型アクアジェットについて …… 21
  - スイッチ付マッサージシャワーについて …… 22

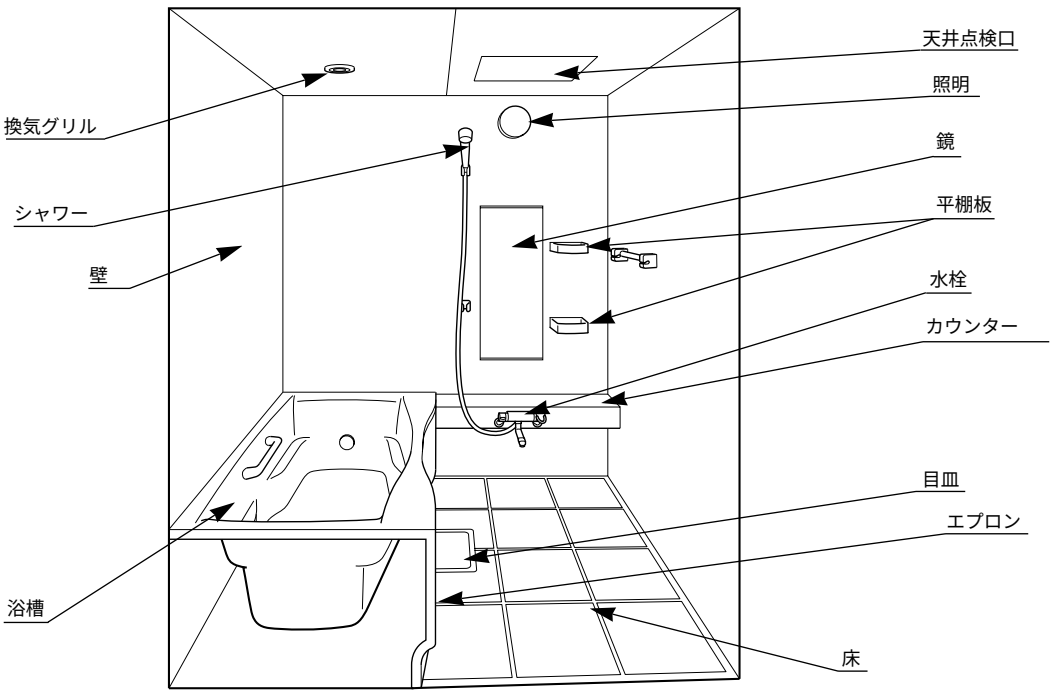
お手入れ方法
- 入浴後のお手入れ …… 23
- 日頃のお手入れ …… 23
- 週1回程度のお手入れ …… 25
- 念入りなお手入れ …… 26

長くお使いいただくために
- シャワーや吐水口からの水量が少なくなったと感じたら …… 32
- 照明用電球の交換 …… 33

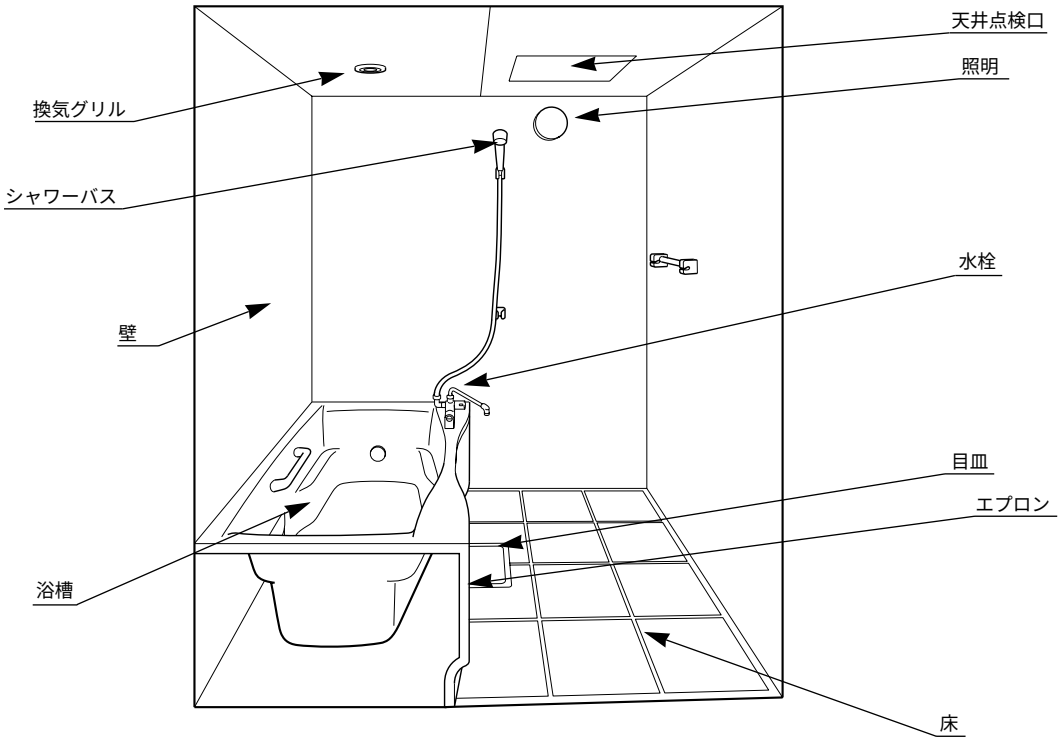
交換部品のご案内 …… 34
故障かな？と思ったら …… 35
アフターサービスについて …… 37
品番を調べる・廃棄について …… 39

各部のなまえ

カウンタータイプ（LBSH）



フラットタイプ（LBEL）

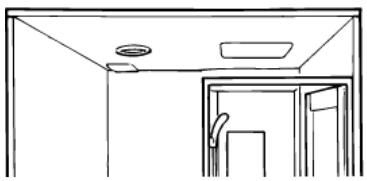


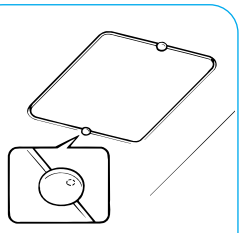
※ ご使用いただくシステムバスルームは上記イラストと異なる場合があります。
※ リフォーム前の部品をそのままご使用される場合は、本取扱説明書の内容と異なりますのでご注意ください。

⚠ 注意

点検口は電気配線や配管関係等に異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。
ご自身で開けたり、天井裏に物等を置かないでください。
※ **火災・感電や漏水の原因**となります。

天　井

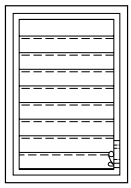

平天井


天井点検口

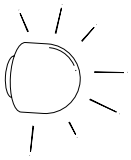
風呂フタフック

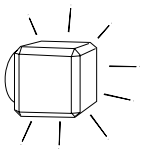
組みフタフック

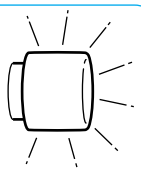
窓


可動ルーバー窓

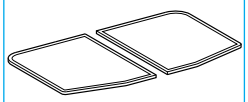
照明器具


半球型


角型


円筒型

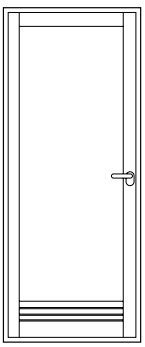
風呂フタ

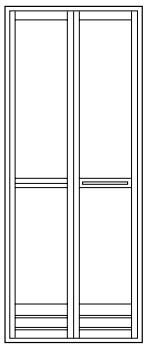

組みフタ

排水栓

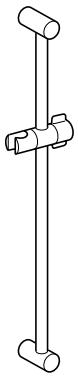
ゴム栓

ド　ア

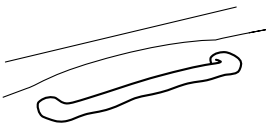

開き戸U型

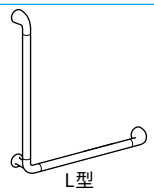

折り戸

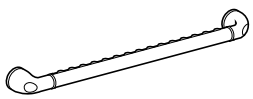
スライドバー



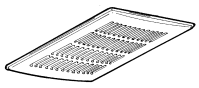
握りバー

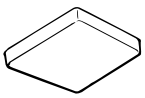

浴槽内握りバー

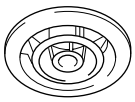

L型


I型

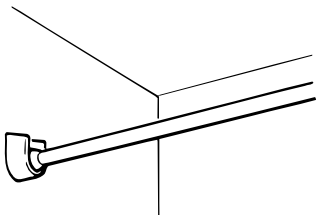
換　気　扇


温風暖房機・
換気乾燥暖房機


天井換気扇


換気グリル

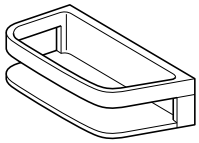
ランドリーパイプ

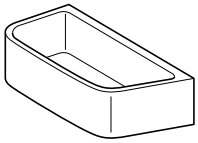


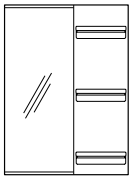
収　納　部

高級コーナー棚

コーナー棚


高級収納棚


収納棚

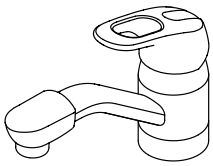

平付収納ラック

※本ページに記載しています部品は、ご注文時に選択いただく部品が含まれていますので、ご使用いただくシステムバスルームと異なる場合があります。

水栓金具の種類

●浴槽側水栓

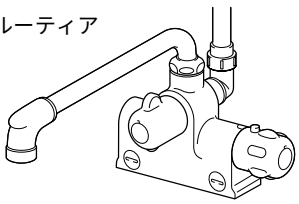
シングルレバー水栓



BF-B420SX-PU

サーモ水栓

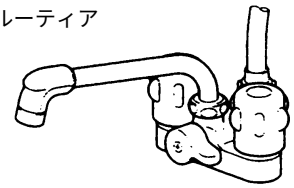
ルーティア



BF-4646T-PU

ツーハンドル水栓

ルーティア

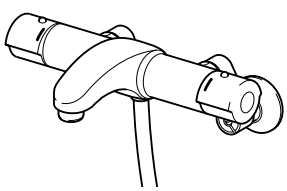


BF-4606-PUI

●洗い場側水栓

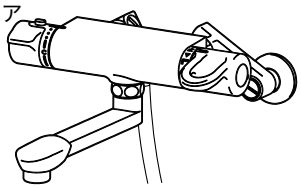
壁付サーモ水栓

アウゼ



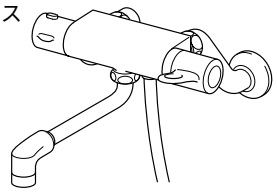
BF-A146T-PU

アステシア



BF-7146T-PU

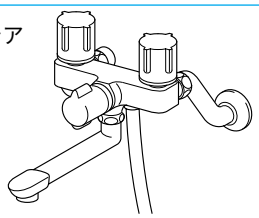
ミーティス



BF-M146T-PU

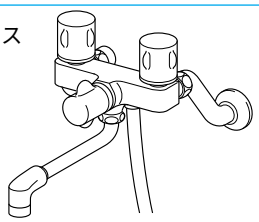
ツーハンドル水栓

アステシア



BF-7115H(90)-PU

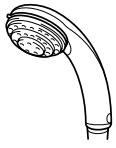
ミーティス



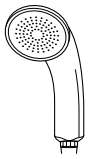
BF-M115H(100)-PU

●シャワーヘッド

シャワーヘッド



マッサージスプレーシャワー



スプレーシャワー

スイッチ付マッサージシャワー

スプレーシャワー

※イラストはスイッチ付（オプション）です

※本ページに記載しています部品は、ご注文時に選択いただく部品が含まれていますので、ご使用いただくシステムバスルームと異なる場合があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※水栓金具、換気扇、アクアジェット等は商品に添付されている各取扱説明書および表示に従ってください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ **警告** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ **注意** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

……「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「分解してはいけません！」

……「指示した場所に触れてはいけません！」

……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

風呂フタについての警告

風呂フタを設置する場合は、風呂フタの上に体重をかけたり、乗らないでください。

※フタが外れて、**ケガやヤケドをする恐れ**があります。

水栓金具や換気扇等の取扱いについての警告

水栓金具や換気扇等の付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書の注意表示に従ってお使いください。

※誤った使い方をすると、**思わぬ事故や故障の恐れ**があります。

アクアジェットご使用時の警告

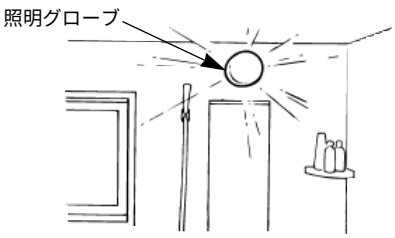
・安全カバーが外れたり破損したままで使用しないでください。
・使用するときは、吸込口や噴射口をふさがないでください。
・浴槽内にもぐらないでください。
・子供だけで、入浴中の場合は運転させないでください。

※髪や身体の一部が吸い込まれて、**おぼれたりケガをする恐れ**があります。

照明や換気扇についての警告

照明器具や換気扇等の電気製品は、グローブやルーバー等のカバーを外して使用したり、直接水をかけないでください。

※**火災や感電・故障したり、電球が割れてケガをする恐れ**があります。



照明器具にタオル等をかけないでください。

※**過熱して火災になる恐れ**があります。

換気扇等のお手入れや、電球を交換する場合は必ず電源（スイッチ）を切ってから行ってください。

※**感電やケガをする恐れ**があります。

排水栓についての警告

浴槽排水栓は、きちんと閉まっていることを確認してください。
お手入れ等でヘアキャッチャーを取り外した時はパチンと音がするまではめ込んでください。（P.17参照）

※追いだき機器をご使用の場合、漏水により空だきとなり、**機器が損傷する恐れ**があります。

⚠注意

ケガに注意!!

換気扇運転中はルーバーを外してファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れないでください。
※**感電やケガ・故障の恐れ**があります。

浴槽に飛び降りる等、無理な力をくわえないでください。
※浴槽が破損して**ケガをしたり、漏水する恐れ**があります。

床や浴槽が石けんや湯アカでぬれている時は洗い流してください。
※転んで**ケガをする恐れ**があります。

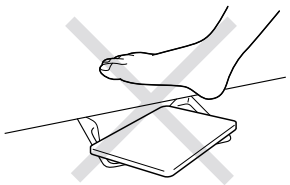
鏡に熱湯や冷水をかけないでください。
※急激な温度変化は鏡破損の原因となり、**ケガをする恐れ**があります。

点検口は設備点検時以外は開けたり、中に物等を置かないでください。
※**火災・感電や漏水**、またフタが外れ、落下して**ケガをする恐れ**があります。

ものをぶつける等、鏡や壁への衝撃はお避けください。
※表面が傷ついたり、割れて**ケガをする恐れ**があります。

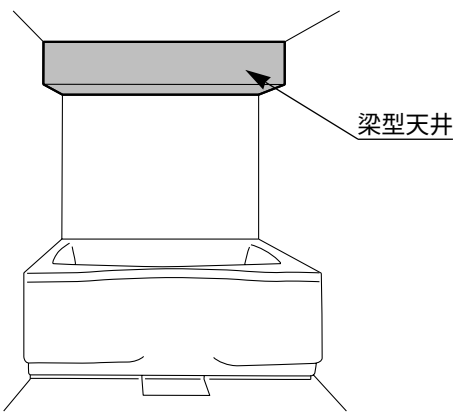
浴槽やカウンターの上に乗って、掃除や電球交換をしないでください。
※不安定な作業になりますので、転倒して**ケガをする恐れ**があります。

目皿を外したまま、使用しないでください。
目皿はきちんとはめて使用してください。
※脚を踏み外して**ケガをする恐れ**があります。



お手入れのときは必ずビニール手袋等で保護してください。
※カウンター内部や浴槽裏の突起部分、すき間等で**ケガをする恐れ**があります。

梁型天井に頭をぶつけないよう注意してください。
※天井のカドで**ケガをする恐れ**があります。



⚠注意

自分で取り付けないで!!

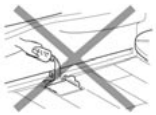
ご自分で壁に穴をあけて、握りバーやタオル掛等を取り付けないでください。
※**壁材が破損したり、漏水の原因**となります。

ヤケドに注意!!

風呂フタを交換する場合は、必ず浴槽に合ったものをお使いください。
※フタが外れて、**ケガやヤケドをする恐れ**があります。

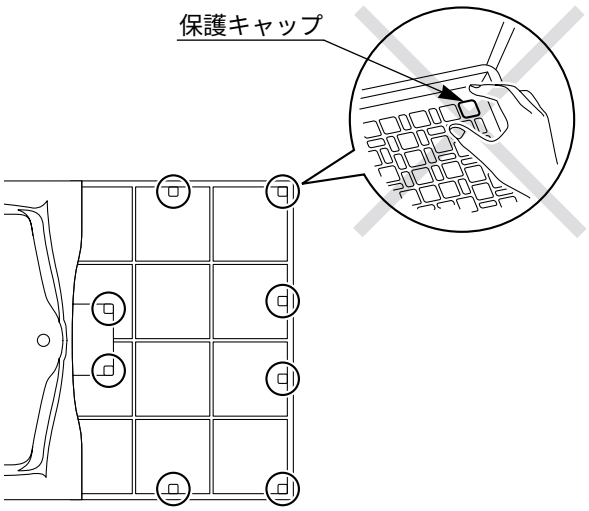
溶剤、薬品に注意

排水口にシンナー等の溶剤や薬品類を流し込まないでください。
※**漏水の原因**となります。



床固定部保護キャップを取り外さないで!!

床のキャップは床固定部の保護キャップです。
取り外さないでください。
※**漏水の原因**となります。

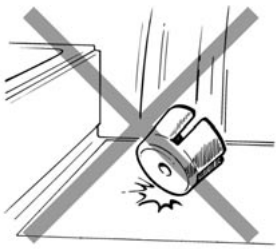


使用時のご注意

故障をおこさないためにお守りください

無理な力を加えないで!!

重いものや硬いものを落さないでください。
※**キズの原因**となります。



水栓吐水口を上下に動かしたり、無理な力を加えないでください。
※**漏水の原因**となります。

窓枠の上に植木ばち等の重いものを置いたり、窓枠に突っ張りブラインド等で押し広げる力を加えないでください。
※**破損や漏水の原因**となります。

タオル掛やシャワーフック、スライドバー、ランドリーパイプ等に無理な力を加えないでください。
※**破損や漏水の原因**となります。

カウンターに乗ったり、すわったりしないでください。
※**破損や漏水の原因**となります。

おそうじのときは!!

タワシ、クレンザー、研磨剤、シンナー、アルカリ性および酸性の薬剤、塩素洗浄剤は表面を傷つけたり、変色、サビの発生の原因となりますので使用しないでください。漂白剤、カビ取り剤は必ずその取扱説明書を読み、目立たない箇所に付けてみて、変化のないことを確認してから使用してください。

ドアは飛散する水を防ぐためのものです。ドアに直接水をかけないでください。
※浴室外に水が漏れ、**家財等をぬらす原因**となります。

お手入れ等で、排水トラップや浴槽排水口のヘアキャッチャーを取り外した後は、きちんとはめ込んでから、使用してください。
※**排水管のツマリや悪臭の原因**になります。

浴槽内の注意!!

アクアジェット付の浴槽では、浴槽内で石ケン・ボディシャンプー類を使用しないでください。
※多量の泡が発生するとともに**故障の原因**となります。

硫黄系、アルカリ系の入浴剤や、温泉水、飲料用以外の井戸水を使用しないでください。
※**浴槽表面の変色や漏水の原因**となります。

浴槽からお湯を一気にあふれさせないでください。
※**浴槽外に水が漏れる恐れ**があります。

金属類を放置しないで！！

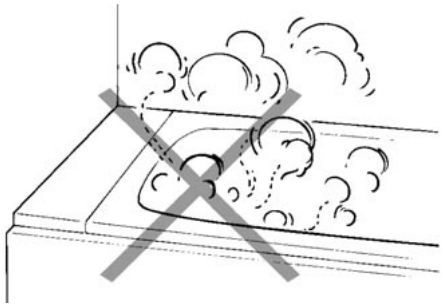
ヘアピン・カミソリの刃等の金属類を床、カウンター、浴槽上に直接放置しないでください。
※**サビが付着して取れなくなる場合**があります。

火を近づけないで!!

タバコ等の火気を近づけないでください。
※**キズ・ヒビ割れの原因**となります。

熱湯に気をつけて!!

お湯は温度を調節して給湯してください。
※直接熱湯（８０℃以上）を入れたり、お湯を沸かしすぎますと**浴槽や排水金具を傷めたり、寿命を短くする原因**となります。



浴槽浄化保温機について

浴槽浄化保温機（２４時間バス）に該当する機器は使用しないでください。
※継続して使用すると**浴槽表面の荒れ・退色等を著しく促進する場合**があります。

化粧品の使用について

浴室内で毛染め剤やマニキュア除光液をご使用される時は、必ずシート等で床を保護してください。
※床に付着すると**シミになる場合**があります。

目地のキズに気をつけて!!

床・壁・天井・窓枠等の継目部分には、漏水を防ぐため目地材（または、コーキング材）がうたれています。はぎ取ったり、キズつけないでください。
※**漏水の原因**となります。

吸盤付製品の使用について

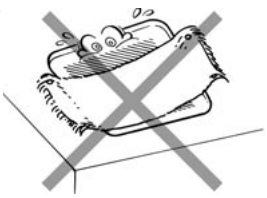
吸盤付タオル掛、吸盤付石けん置き等を使用しないでください。
※**変色する恐れ**があります。

すのこ等の使用について

すのこ、バスマット等を洗い場に敷く場合は、ご使用後、必ず外し、水で洗い流してください。
※**カビ、変色、ニオイの原因**となります。

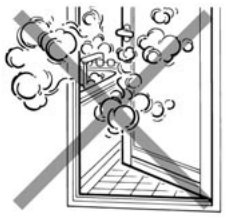
換気等に注意!!

換気扇の吸込口をタオル等でフタをしないでください。
※**故障の原因**となります。



入浴後は窓を開けたり、換気扇を使用する等、浴室にこもった蒸気を屋外へ排出してください。
※浴室にこもった蒸気は、**悪臭やカビの発生原因**となります。
※換気扇を使用する時は、窓やドアを開けないでください。十分な換気ができません。

入浴中や貯湯、入浴直後は浴室のドアを必ず閉めてください。
※浴室外に蒸気や水が漏れ、**家財等をぬらす原因**となります。
※ドアがきちんと閉まった状態でも、シャワー等で勢いよくドアのすき間に散水すると外へ漏れることがあります。また蒸気や光につきましても完全に遮蔽する構造ではありません。



洗い場の床について

床が汚れていることがありますので、はじめてご使用になる場合は、浴室用合成洗剤でお掃除することをお勧めします。
床表面は水はけの良いモザイクパターンになっていますが一部に水滴が残り、乾燥に時間がかかることがあります。
※床に残った大きな水滴は、入浴後使い終わったタオル等でふいておくと乾燥に時間がかかりません。

凍結に注意

水栓、アクアジェット付の浴槽で凍結の恐れがある場合は、各々の取扱説明書に従って必ず水抜きをしてください。
※冬期凍結の恐れがある場合は、浴槽内の湯は排水してください。
追いだき付給湯器を使用の場合は、給湯器の取扱説明書に記載の凍結防止方法に従ってください。
アクアジェットをご使用の場合は、給湯器等に関係なく浴槽内の湯は必ず排水してください。
※**破損や故障の原因**となります。

※冬期凍結の恐れがある時期に、長期間使用しない（浴室内温度が零度以下へ低下）場合は、床排水トラップ内の水が凍結しないように、トラップ内の水を吸い出して不凍液と入れ替えてください。不凍液が入手できない場合は、ヘアキャッチャーや防臭パイプを外してから不凍液の替わりにぼろ布をトラップ内に押し込んで、排水からの臭気が入らないようにしてください。

KILAMIC抗菌仕様商品についてのご注意

・KILAMIC抗菌仕様商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによるヨゴレの生成を抑制します。ホコリ、油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては充分な抗菌効果を発揮できません。
・KILAMIC抗菌仕様商品は菌の繁殖を抑制する効果は持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品を感染防止を目的として使用しないでください。

小さなお子さまを事故から守るために、お守りください

●浴室のドアは必ず閉めておいてください。
※鍵がついているものは鍵を必ずかけてください。
●浴室内では、お子さまだけで遊ばせないでください。
●お子さまのおもちゃ類を浴室内に放置しないでください。
●使用後は、浴槽の水を抜いてください。
●お子さまだけで入浴させないでください。

ご使用方法

ドアについて

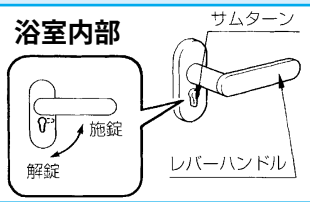
開き戸、折り戸でご使用方法が異なります。以下の説明をよくお読みいただき、該当する方法で正しくご使用ください。
浴室ユニットをご使用の前に、ドアを開けたままで解錠が可能か確認してください。万一、解錠ができない場合は、購入先へ連絡してください。

ワンポイント 小さなお子さまが浴室内に一人で入らないように、入浴時以外は浴室外側からの施錠をおすすめします。

開き戸の施錠・解錠

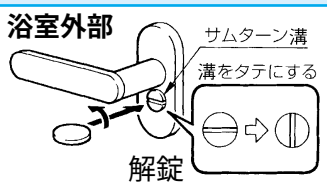
浴室内側からの施錠・解錠

施錠はサムターンを右側横向きにし、解錠は下向きにします。
※浴室から出る際にドアを閉めるときは、サムターンを解錠状態にしてください。
施錠の状態にしたままドアを閉めますと、入室できなくなります。
その場合は、下の「浴室外側からの解錠（非常時）」をご覧ください。



浴室外側からの施錠・解錠（非常時）

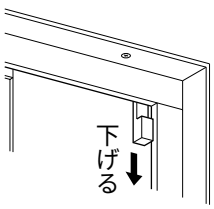
施錠はサムターン溝にコイン等を差し込んで右側へ回し横向きにします。
非常時に浴室外から解錠するときは、サムターン溝にコイン等を差し込んでサムターン溝をタテ方向に回してください。
サムターンが解錠となり、ドアを開けることができます。



開き戸の取外方法

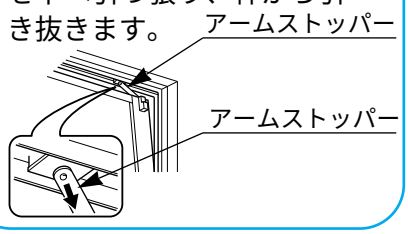
浴室内で人が倒れる等によりドアが開かなくなった場合には、以下の要領でドアを開けてください。

1 吊り元上部にあるロックツマミを下げて、ロックを外します。

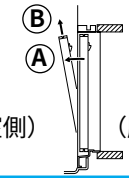


2 レバーハンドルを操作し、ドアの上部を浴室側に倒します。

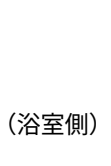
3 扉上部のアームストッパーを下へ引っ張り、枠から引き抜きます。



4 扉上部を浴室側に傾けます。-Ⓐ
扉を上方へ持ち上げます。—Ⓑ



5 扉を少し斜めにしながら、脱衣室側に取り出します。

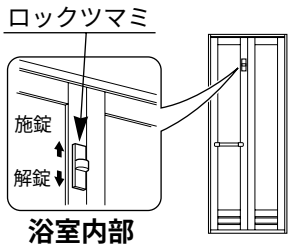


※取付けは「取外方法」と逆の手順で行います。
※取付後は、ロックツマミが元の位置（上側）に戻っていることを確認してください。

折り戸の施錠・解錠

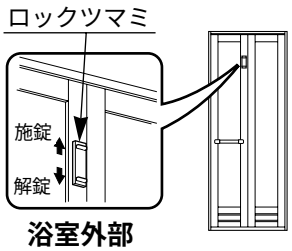
浴室内側からの施錠・解錠

施錠はドア上側にあるロックツマミを上げます。
解錠はロックツマミを降ろします。



浴室外側からの施錠・解錠（非常時）

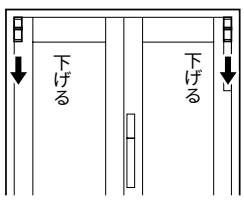
施錠はドア上側にあるロックツマミを上げます。
非常時に浴室外から解錠するときは、
ロックツマミを降ろします。
施錠スイッチが解錠となり、ドアを開けることができます。



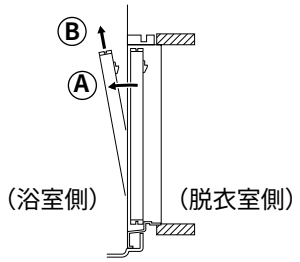
折り戸の取外方法

浴室内で人が倒れる等によりドアが開かなくなった場合には、以下の要領でドアを開けてください。

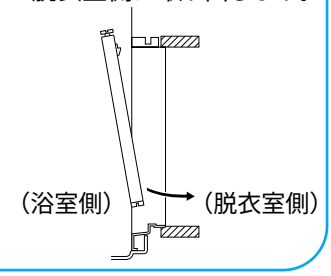
1 扉の左右上部の2か所のロックツマミを下げます。



2 扉上部を浴室側に傾けます。-Ⓐ
扉を上方へ持ち上げます。—Ⓑ

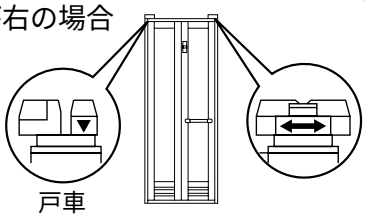


3 扉を折り曲げながら、脱衣室側に取り出します。

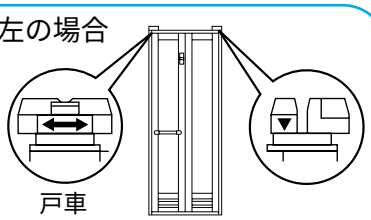


※取付けは「取外方法」と逆の手順で行います。取付けの際は、戸車の向きに注意してください。向きを間違えると開閉時、枠から障子が外れます。

取っ手が右の場合



取っ手が左の場合



※取付後は、ロックツマミが元の位置（上側）に戻っていることを確認してください。

水栓について

水栓の取扱いは、タイプによって異なりますので、ご使用いただく水栓に合わせてご覧ください。
詳しくは各水栓金具の取扱説明書をご覧ください。

⚠注意

●水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※高温の湯が出て**ヤケドをする恐れ**があります。

●水栓の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※**ヤケドをする恐れ**があります。

●ハンドル操作の急閉止はおやめください。
※**ウォーターハンマ（衝撃音）が発生**することがあります。
※配管から漏水をおこし、**家財等をぬらす恐れ**があります。

●凍結が予想される場合は、水栓の取扱説明書をご覧になり水抜きを行ってください。
※凍結破損で漏水をおこし、**家財等をぬらす恐れ**があります。

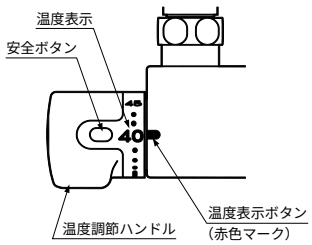
？もしもこんなとき

給湯器の設定温度が低温（40℃前後）の場合、水栓から吐水される湯温は、表示温度より低くなります。このような場合は、**給湯器の設定温度を50℃以上**にするか、水栓付属の取扱説明書をご覧の上、水栓の温度調節を行ってください。
※（株）INAXメンテナンスにご依頼いただければ、調整にお伺いします。（有料）（P.37参照）

［洗い場側水栓］　壁付サーモ水栓（アウゼ・アステシア・ミーティス）

① 温度の調節

温度調節ハンドルの目盛は吐水温度を示しています。これを目安として、希望温度目盛をマーク（赤色）に合わせます。

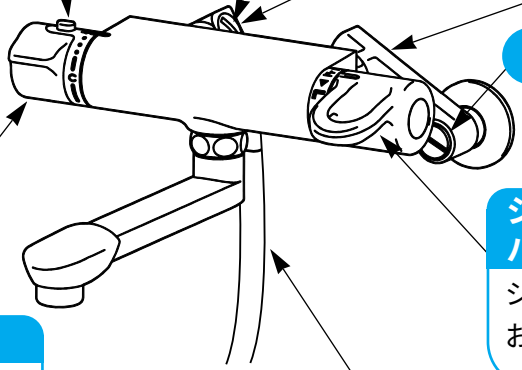


ワンポイント

温度目盛の上限は「45」で、約45℃以上のお湯はできません。
高温側に回すと安全ボタンの働きで一度温度調節ハンドルが止まります。40℃以上の吐水温度が必要なときは、安全ボタンを押しながら回してください。

安全ボタン

約40℃で一度ハンドルが止まります。



ストレーナー（アステシア・ミーティスの場合）

取付脚（給湯側）

取付脚（給水側）

ストレーナー（アウゼの場合）

シャワー・バス切替ハンドル

シャワーと吐水口の切替えとお湯を止めます。

温度調節ハンドル

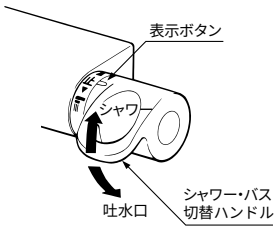
お湯の温度を調節します。

シャワーホース

※イラストはアステシアです。

② 吐水口、シャワーの切替え

シャワー・バス切替ハンドルの表示ボタンと本体側の表示リングの「止」マークが合っているときが止水位置です。シャワー使用のときは、シャワー・バス切替ハンドルを上に回してください。吐水口使用のときはシャワー・バス切替ハンドルを下に回してください。

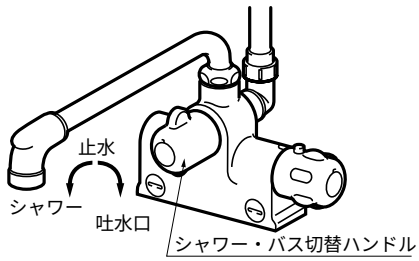


※湯温が低い場合は、P.35の「故障かな？と思ったら」を参照ください。
※ストレーナーの掃除は、P.32を参照ください。

[兼用水栓]　サーモスタット付水栓

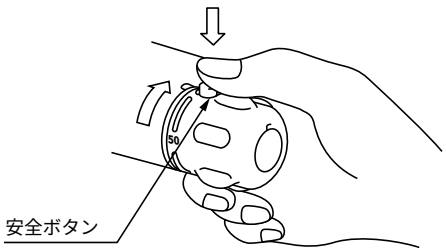
シャワー・バス切替ハンドル

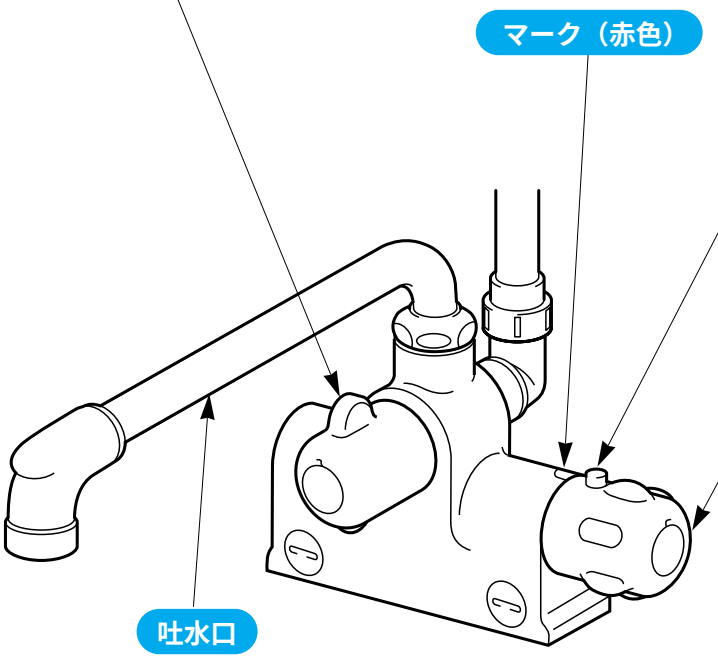
シャワーと吐水口を切り替えます。
シャワー使用のときは左へ、吐水口使用のときは右に回します。
お湯を止めるときは、ハンドルのレバー部を真上にします。



安全ボタン

約40℃で一度ハンドルが止まります。
40℃以上の温度が必要な場合は、このボタンを押しながら回します。

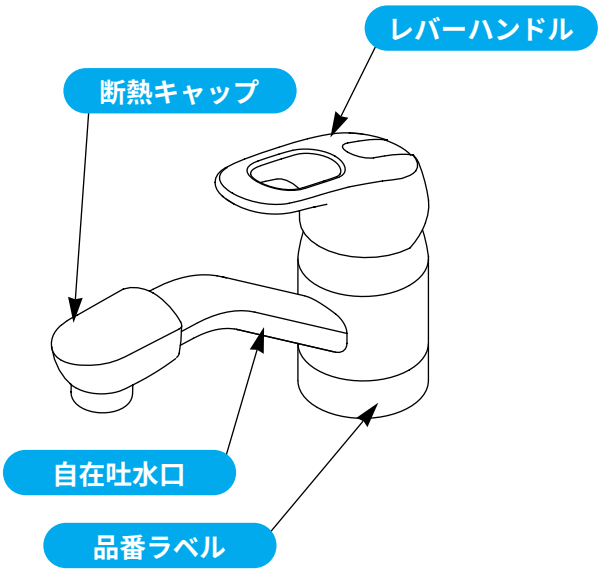




温度調節ハンドル

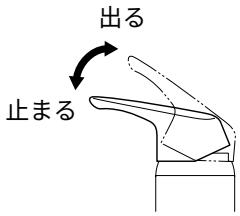
お湯の温度を調節します。

［浴槽側水栓］　シングルデッキ水栓



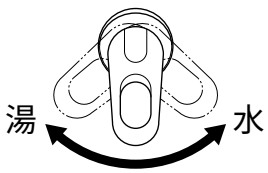
1 吐出量の調節

レバーハンドルを上げると吐出し、上げ具合で吐出量を調節できます。
レバーハンドルは左右どの位置でも下げると止水します。



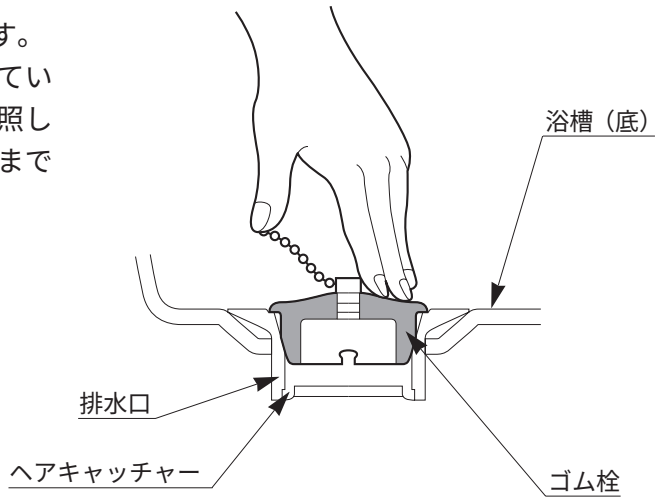
2 温度の調節

レバーハンドルを左方向に回すと吐出温度が上がり、右方向に回すと下がります。



排水栓について

排水栓は手でしっかりと排水口に押し込みます。
※ゴム栓の閉まりが悪く、お湯が漏れて減っていく場合は、P.25の排水口のお手入れを参照して、ヘアキャッチャーをパチンと音がするまではめ直してください。



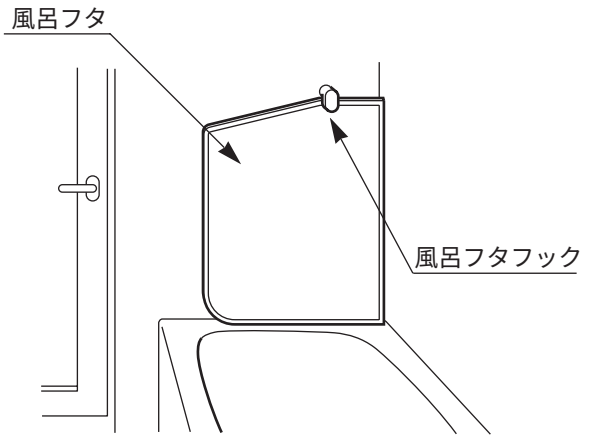
風呂フタについて

ワンポイント

風呂フタはカビが発生しやすい箇所です。ときどき、うすめた浴室用合成洗剤をスポンジ等に付けて洗い、その後水で流して陰干等でよく乾燥させるとカビが発生しにくくなります。

組みフタの場合

組みフタフックは、浴槽背もたれ側の壁に付いています。
入浴するときは図のように風呂フタをフックにかけてください。



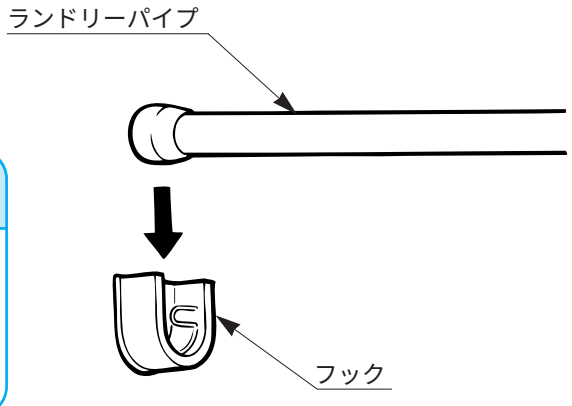
⚠注意

風呂フタフックにもたれたり、無理な力をかけないでください。
※**破損の原因**となります。

オプション機能

ランドリーパイプについて

浴室で洗濯物を乾燥させるときに
使用します。
浴槽壁の両側にあるフックに確実に
はめてご使用ください。

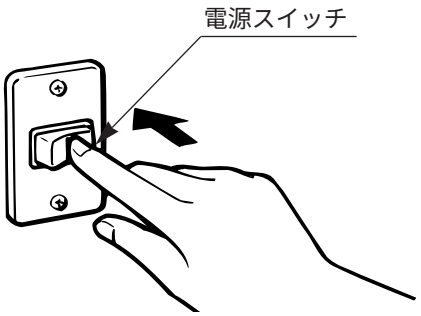


⚠注意

ランドリーパイプにぶら下がったり、
強く引っ張らないでください。
※**ケガの恐れ**があります。
※洗濯物の安全荷重の目安は10キロ
グラムです。

換気扇について

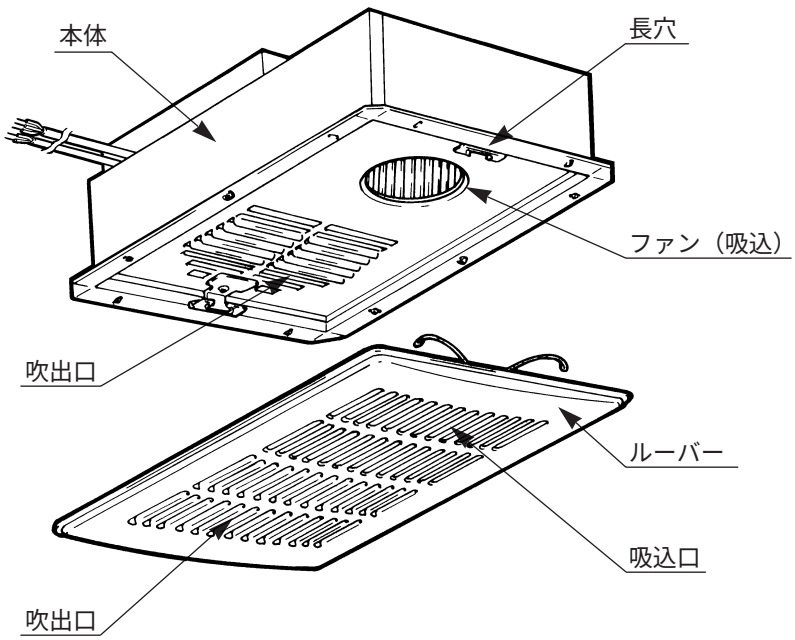
浴室外にある電源スイッチを押して換気扇を操作します。
※換気扇を運転する場合は、窓やドアを閉めてください。
P.9の換気等に注意を参照して、ご使用ください。



浴室暖房機について

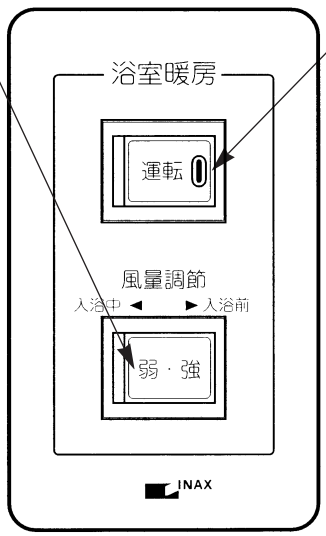
詳しくは浴室暖房機の取扱説明書をご覧ください。
※入浴前30分から60分程度風量を「強」で運転しておくと浴室全体が暖かくなります。

各部の名称とはたらき



風量調節スイッチ

入浴前に右側を押します。
入浴中は左側を押します。



運転スイッチ

運転するとき右側を押します。
停止するとき左側を押します。

⚠注意

運転後は必ず運転を停止してください。
※運転スイッチの左側を押します。

換気乾燥暖房システムについて

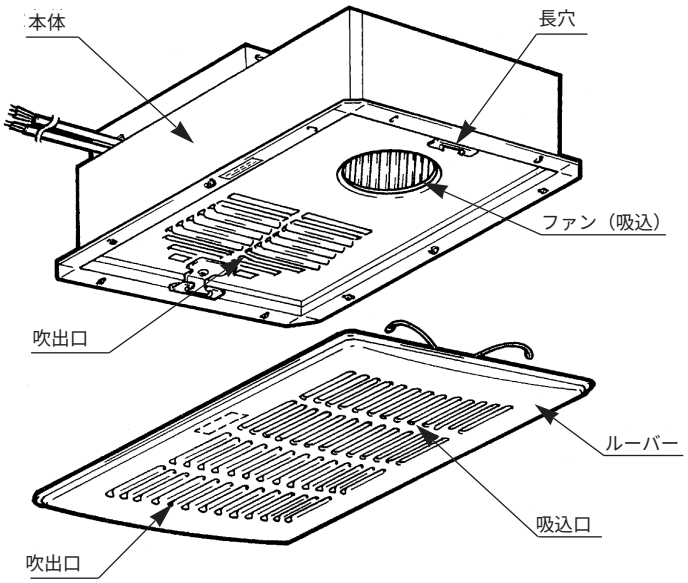
詳しくは換気乾燥暖房システムの取扱説明書をご覧ください。

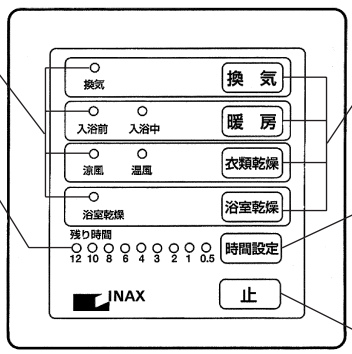
換気乾燥暖房システムは、別途設置した換気扇を連動させることにより、浴室を換気する以外に、浴室の洗濯物を乾燥させたり、入浴前暖房、入浴中暖房を行うことができます。

詳しくは換気乾燥暖房システムの取扱説明書をご覧ください。また、当社以外の換気乾燥機が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

※入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと浴室全体が暖かくなります。

各部の名称とはたらき





表示ランプ

各運転モードに応じて点灯します。

残り時間ランプ

設定された時間ランプが点灯し、運転開始とともに残り時間が点灯します。

運転ボタン

各運転モードの運転を開始します。

時間設定ボタン

運転時間を設定します。

止ボタン

各運転モードの運転を停止します。

※運転を停止した後、表示ランプが点滅し、
ヒーター冷却のため循環ファンが2～3分運転します。

⚠ 注意

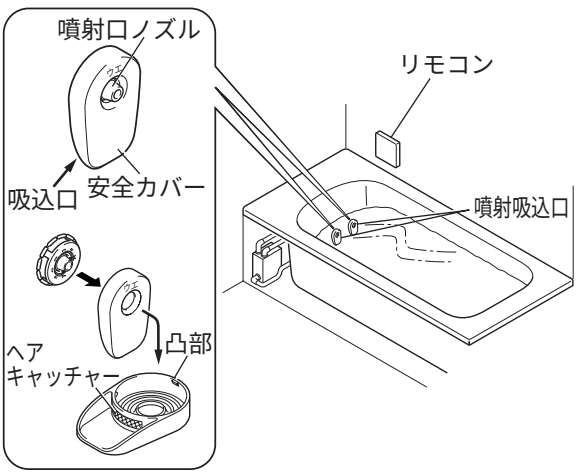
表示ランプと残り時間ランプが各1個同時に点滅するとき、または残り時間ランプが2個同時に点滅するときは、ただちに当社指定の取扱店または販売店へ修理を依頼してください。

※装置内に異常が起こり、事故防止のため、安全装置が働いて自動停止している状態です。

ポンプ内蔵型アクアジェットについて

詳しくはアクアジェットの取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき



リモコン

の部分を押すことで、運転を開始します。
再度押すと停止します。

つよさ の部分を押すことで噴流強さが切り替わります。

⚠ 警告

- 安全カバーが外れたり破損したままで使用しないでください。
- 使用するときは、吸込口や噴射口をふさがないでください。
- 浴槽内にもぐらないでください。
- お子さまだけで入浴中の場合は、運転させないでください。

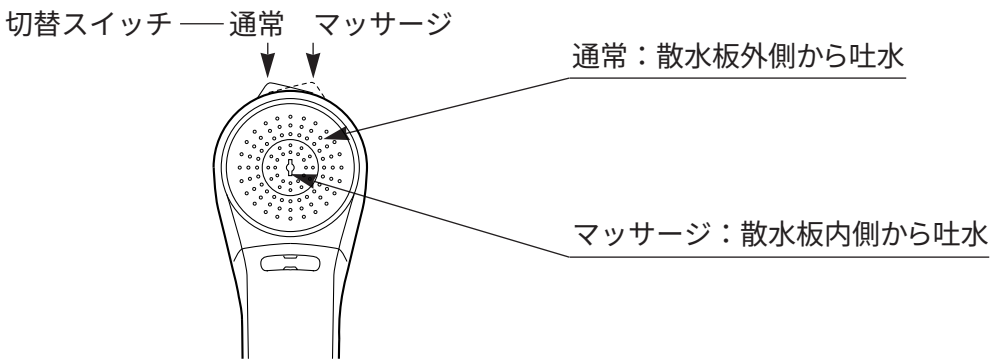
※髪や身体の一部が吸い込まれて、**おぼれたりケガをする恐れ**があります。

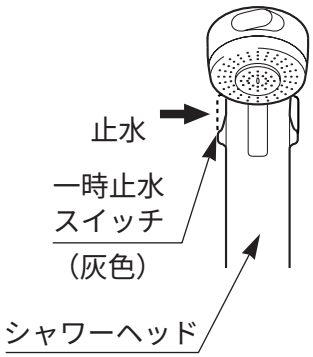
スイッチ付マッサージシャワーについて

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

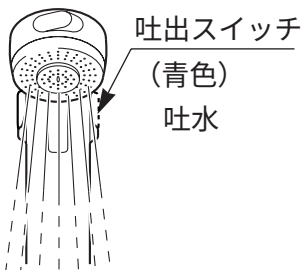
各部の名称とはたらき

シャワーヘッド先端の切替スイッチで切替えができます。





シャワーの吐出を一時的に止めたいときは
シャワーヘッドの一時止水スイッチ（灰色）
を押します。



吐出を再開したいときは吐出スイッチ
（青色）を押します。

※スイッチ付マッサージシャワーの場合、シャワーヘッドとシャワーホースは分離できない構造になっているため、分離しないでください。

⚠注意

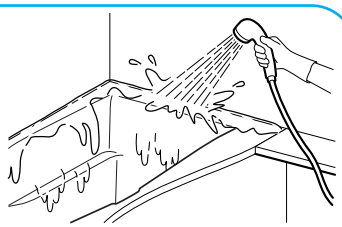
水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※高温の湯が出て**ヤケドをする恐れ**があります。

※止水後もシャワーヘッド内の残水がポタポタと水が垂れる場合がありますが、故障ではありません。放置しても水が止まらない場合は、故障の可能性がありますので取扱店または販売店へ修理を依頼してください。（P.37）

お手入れ方法

入浴後のお手入れ

浴槽と壁のすき間にシャワーで熱めのお湯をかけてください。
※すき間にはいったお湯は浴槽下から排水されますので心配ありません。
※ すき間が汚れている場合は毛先の長い柔らかいブラシ等で掃除してください。
洗剤や洗剤に溶け込む人体の油脂類等が壁に飛び散り、付着しますと、カビの発生の原因となります。壁、床にシャワーで熱めのお湯をかけ、ヨゴレを洗い落としてください。その後水のシャワーをかけ、室内の温度を下げます。
使用したバスタオル等で壁、床の水滴をふきとり、換気扇や窓を開け換気を充分にとってください。



日頃のお手入れ

共通事項

タワシ、クレンザー、研磨剤、シンナー、アルカリ性および酸性の薬剤、塩素洗浄剤は表面を傷つけたり、変色、サビの発生の原因となりますので使用しないでください。漂白剤、カビ取り剤は必ずその取扱説明書を読み、目立たない箇所に付けてみて、変化のないことを確認してから使用してください。

壁・天井のお手入れ

１週間に１度程度、うすめた浴室用合成洗剤をスポンジ等柔らかいものに付けて洗い、よくシャワーで洗い流し、換気を充分とってください。
また１ヶ月に１度程度、天井も壁と同様に長い柄付スポンジ等でヨゴレをふきとってください。

ワンポイント 汚れたまま放置しますと付着したカビが材料内部へ入り込みふきとれなくなる場合があります。

浴槽や風呂フタ･床のお手入れ

入浴後の湯を放置しますと、浴槽の内面に緑青や白いヨゴレ（金属石けん）がついてとれなくなることがあります。市販のクリームクレンザーを使用して磨けば落ちます。しかしクレンザーを多用しますと表面が荒れたり、光沢が失われますので、入浴後はできるだけすみやかに、排水、掃除をしてください。

ワンポイント
- お手入れの際の浴室用合成洗剤は泡切れのよいもの（例えば花王（株）社製：バスマジックリン）を使用いただきますと、シャワーで洗い流す回数が少なく、経済的です。
- 浴槽底面に溜まった細かな砂、金属等はよく洗い流してください。放置すると表面を傷つけたり、変色、サビの発生の原因となります。

ドアのお手入れ

浴室用合成洗剤を柔らかい布に付けて、ふき洗いしてください。
ドアやドアの下、ドアの廻りのパッキン等、ヨゴレがひどい場合は、歯ブラシ等にうすめた浴室用合成洗剤を付けて洗ってください。
洗剤で洗った後は、洗剤が残らないように、湿らせた布でよくふき取ってください。
ドアを洗う場合に、ドアに直接水をかけないようにしてください。ドア外へ水が飛散する場合があります。

鏡・カウンター・収納部・点検口・窓枠のお手入れ

うすめた浴室用合成洗剤をスポンジ、柔らかい布等に付けてふいてください。ふいた後は水を含ませた柔らかい布で洗剤をよくふきとってください。

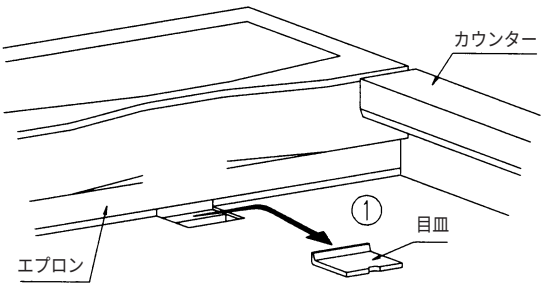
ワンポイント

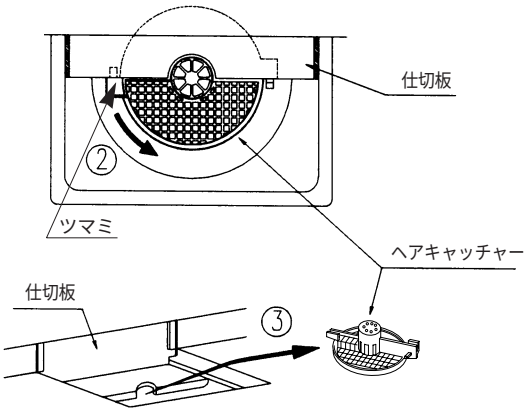
・シャワーの水滴がカウンターに滴下、乾燥を繰り返すうち、水道水中の水アカがカウンターに付着してとれなくなることがあります。こまめにカウンター上の水残りはふき取ってください。
・鏡の表面の白濁したヨゴレは消毒用エタノールを柔らかい布に付けてふき取ってください。

ヘアキャッチャーのお手入れ

ヘアキャッチャーのお手入れ

1．ヘアキャッチャーの取外方法



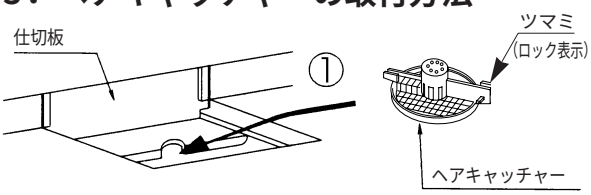


①目皿を取り外します。
②ヘアキャッチャーのツマミ部を反時計回りに止まるまでまわします。
③ヘアキャッチャーを取り外します。

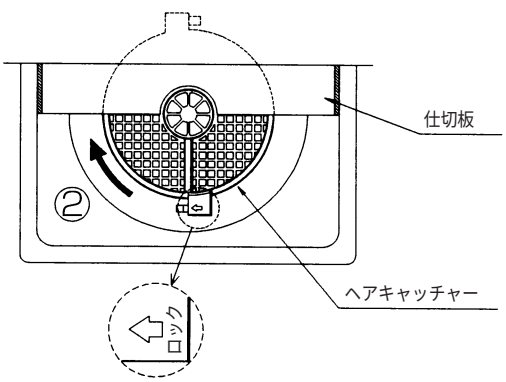
2．ヘアキャッチャーのお手入れ

ヘアキャッチャーや排水トラップ周辺のゴミを取り除いてください。

3．ヘアキャッチャーの取付方法



①お手入れが終わったら、「ロック」と表示のあるツマミ部分を手前側に持って（左下図）、ヘアキャッチャーを排水口にはめ込みます。
②「ロック」と表示のある方向（時計回り）にヘアキャッチャーを仕切板の位置までまわして固定します。
③目皿を取り付けて完了です。



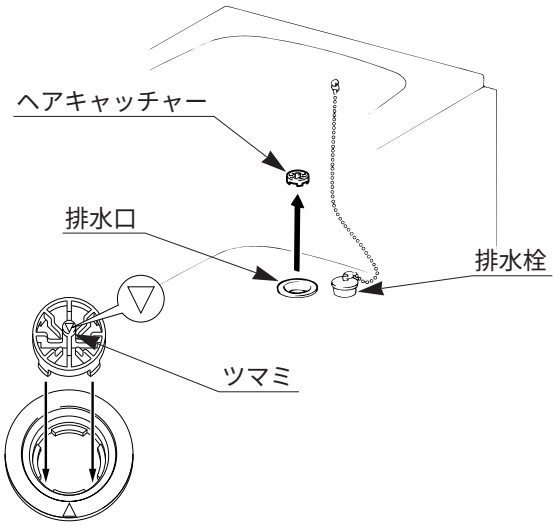
⚠注意

ヘアキャッチャーは必ず仕切板にロックしてください。
※ゴミやヨゴレが浴槽下に流れこむ恐れがあります。

週1回程度のお手入れ

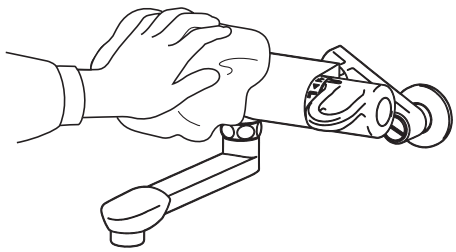
浴槽排水口のお手入れ

ヘアキャッチャーのツマミをつまんで取り出しゴミを取り除いてください。
※ヘアキャッチャーのゴミ等は週に1度は取り除いてください。
取り除いたゴミ等は直接流さないでください。
排水管の詰まりの原因となります。
※ヘアキャッチャーを排水口に取り付ける時は、ツマミの△マークを排水口の▽マークに合わせてパチンと音がするまできちんと押し込んでください。きちんと取り付けないと浴槽の湯張りができなくなります。
※浴槽の湯が減っていく場合はもう一度ヘアキャッチャーを正規の位置に付け直してください。



水栓金具･タオル掛・スライドバーのお手入れ

水栓金具、タオル掛、スライドバーは週に1回程度、乾いた柔らかい布でふいてください。
※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。
キズがついたり、メッキがはがれたりします。
※ アルカリ性洗剤や酸性物が付かないようにしてください。
メッキを傷めます。
※水栓金具については各取扱説明書を参照ください。



床まわりの目地材（またはコーキング剤）のお手入れ

床まわりの目地材（またはコーキング剤）は少なくとも週1回は布またはスポンジにうすめた浴室用合成洗剤をつけて、ヨゴレをふきとってください。
また、目地材に著しくカビが発生しているときは市販のカビ取り剤や洗濯用、あるいはキッチン用漂白剤をお使いください。
※床にカビ取り剤等が付着すると変色する恐れがありますので、シート等で床を保護してください。
※薬剤を使用する場合は、必ず薬剤の取扱説明書を読んで正しくお使いください。
※床まわりの目地材（またはコーキング剤）が切れたりはがれたりしている場合、漏水する恐れがあります。目地材が切れたりはがれたりしている場合は、修理を依頼してください。（P.37）

握りバーのお手入れ

ヨゴレは、乾いた柔かい布でふきとってください。ヨゴレがひどいときは、うすめた浴室用合成洗剤をしみ込ませた布でふき、そのあと必ず水ぶきしてください。

浴槽への自動湯張り、追いだき機能の給湯口のお手入れ

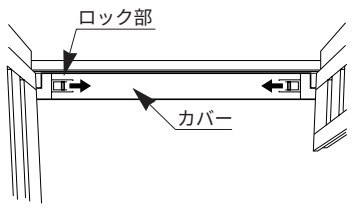
自動湯張り、追いだきの循環口は給湯器の取扱説明書を参照ください。

念入りなお手入れ

ドア下枠（敷居部）のお手入れ

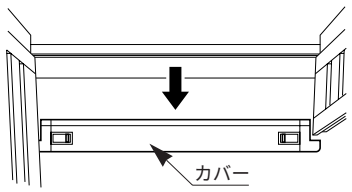
開き戸の場合

1 ドアを開いた状態で、カバー両端のロック部を内方向にずらします。



浴室側

2 カバー両端に指を掛けて上に持ち上げ、溝のゴミを取り除いてください。



浴室側

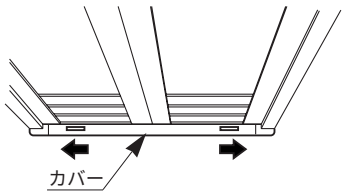
3 お手入後は、取外しと逆の手順で取り付けます。

⚠注意

カバーは確実に取り付けてください。浮き上がっていると、ケガをしたり、脱衣室側に漏水する場合があります。

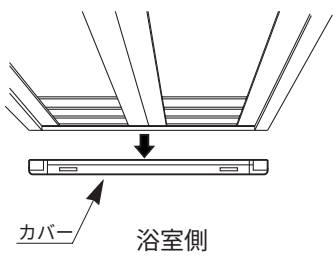
折り戸の場合

1 ドアを閉じた状態で、カバー両端のロック部を矢印方向にずらします。



浴室側

2 カバー両端に指を掛けて上に持ち上げ、溝のゴミを取り除いてください。



浴室側

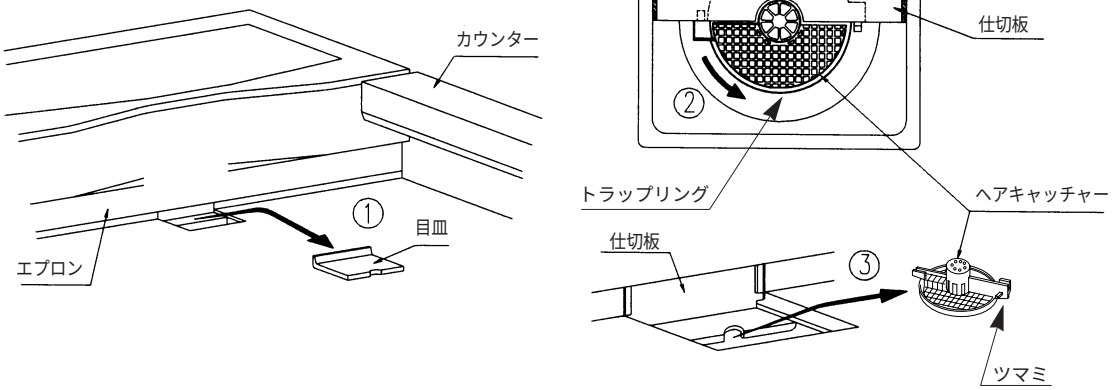
3 お手入後は、取外しと逆の手順で取り付けます。

⚠注意

カバーは確実に取り付けてください。浮き上がっていると、ケガをしたり、脱衣室側に漏水する場合があります。

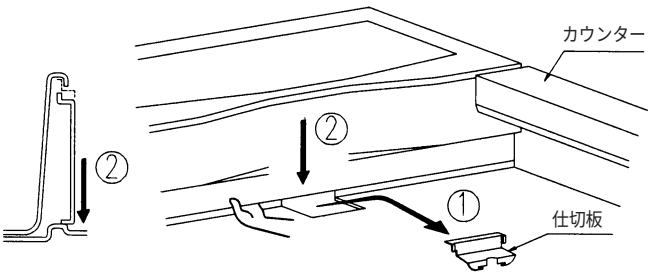
浴槽下と床排水トラップのお手入れ

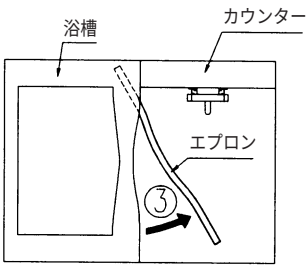
1．ヘアキャッチャーの取外方法



①目皿を取り外します。
②ヘアキャッチャーのツマミ部を持って反時計回りに回転させます。
③ヘアキャッチャーを取り外します。

2．エプロンの取外方法





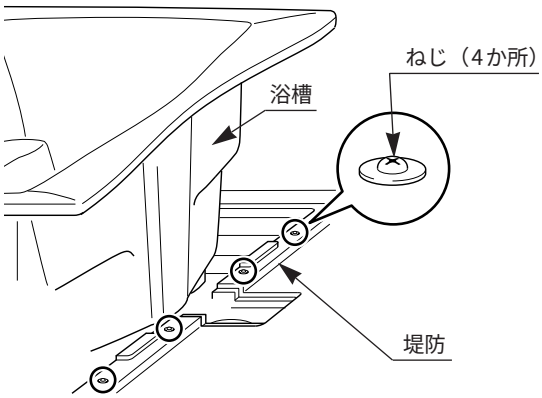
①ヘアキャッチャーを外した後、エプロンを手で押えながら仕切板を手前に引いて外します。
②エプロンを下ろします。
③エプロンを左下図のように手前に引き出し、回転させるようにして取り外します。

3．浴槽下のお手入れ

①外したヘアキャッチャーを元の床排水トラップリングに納めます。
②浴槽下のゴミやヨゴレを流すようにシャワーで散水した後、市販の柄付ブラシ等で浴槽下全体を清掃します。
③再度浴槽下にシャワーで散水し、ゴミやヨゴレを洗い流します。
④ヘアキャッチャーに付着したゴミを取り除きます。
⑤ヘアキャッチャーを床排水トラップリングから取り外します。

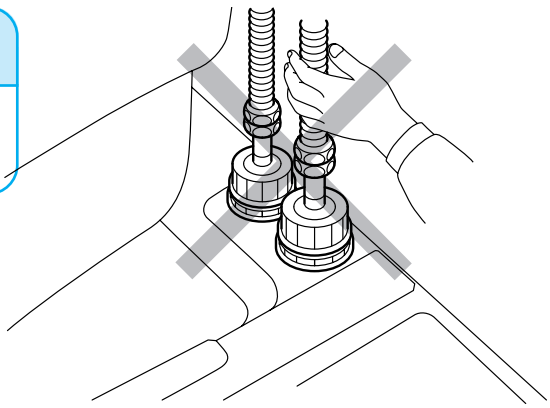
⚠注意

堤防のねじを取り外さないでください。
※**漏水の原因**になります。



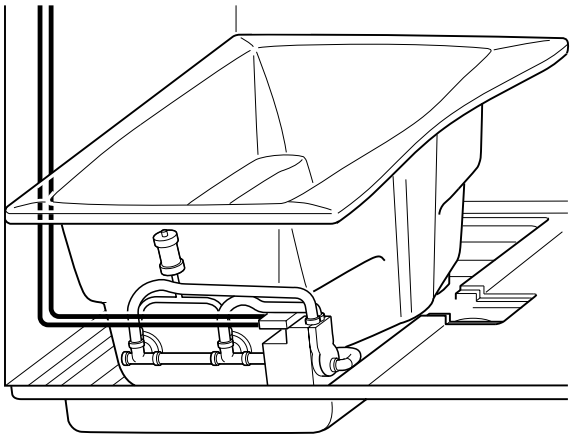
⚠注意

エプロン内の配管に触れないでください。
※**ヤケドをする恐れ**があります。

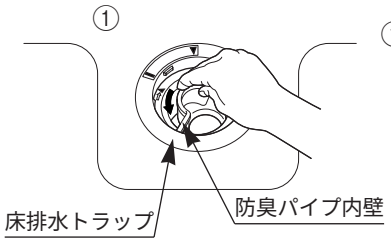


⚠注意

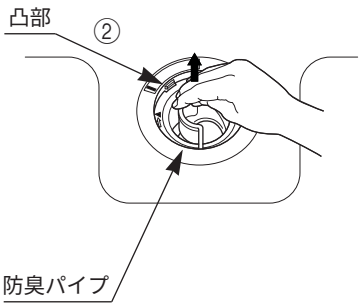
浴槽下のジェットバスや追いだき用配管にふれないでください。
※**ケガをする恐れ**があります。



4．床排水トラップのお手入れ

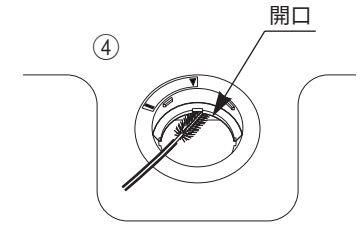


①浴槽下のお手入後、床排水トラップの防臭パイプ内壁を持ち、反時計回りに止まるまで回します。

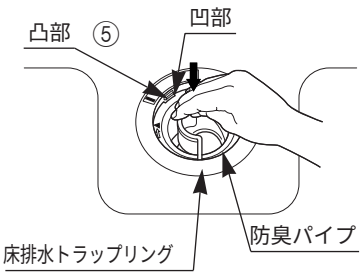


②防臭パイプを上方に持ち上げ、その上の凸部に引っ掛からないようにして引き抜きます。

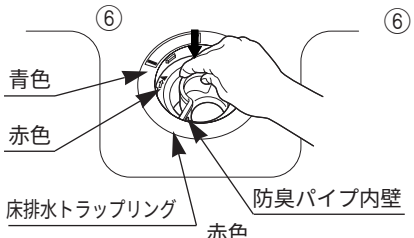
③取り出した防臭パイプのヌメリ等をふき取ります。
※内面がふき取りにくい場合は、内壁を上方に引き抜いてお手入れしてください。引き抜いた後、内壁を防臭パイプ内面の溝に沿って奥まで確実に入れてください。



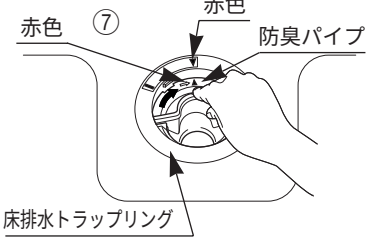
④次に床排水トラップ内部のヌメリやゴミを市販の柄付ブラシ等で取り除きます。
※床排水トラップ内部の浴槽側には、開口のある壁を立てております。壁の奥側のヌメリやゴミも開口から柄付ブラシ等を入れて取り除いてください。



⑤お手入れが終わったら、防臭パイプ上面の4方の凹部が床排水トラップリング内周面の4方凸部をかわしながら防臭パイプを落とし入れます。

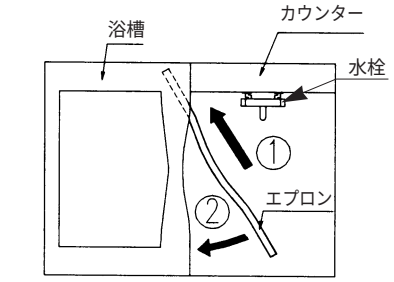


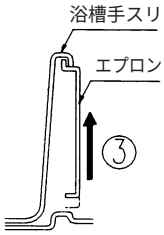
⑥防臭パイプの内壁を持ち、防臭パイプ上面の▲印（赤色）と床排水トラップリング上面の ▮印（青色）とを同じ位置にして防臭パイプをさらに下方に押し込みます。

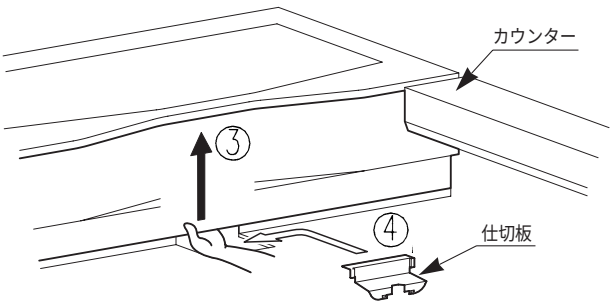


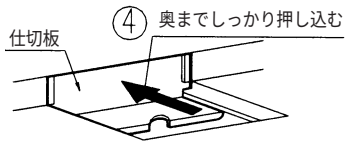
⑦床排水トラップリング上面の▼印（赤色）と防臭パイプ上面の▲印（赤色）が同じ位置になるまで時計回り（「←CLOSE」方向）に回します。
※防臭パイプは傾いた状態で取り付けないでください。

5．エプロンの取付方法



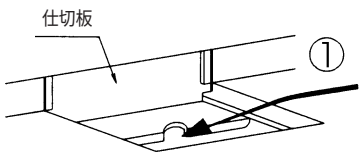


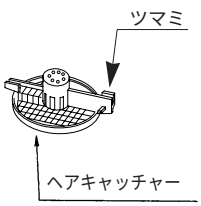


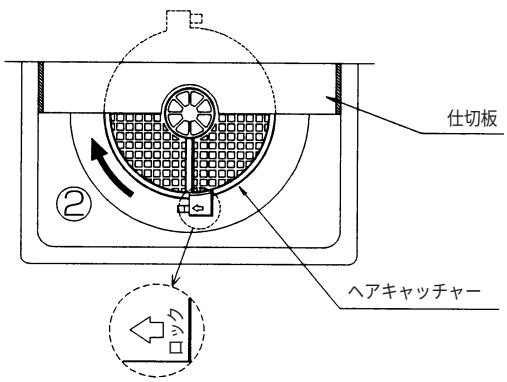


①お手入れが終わったら、エプロンを立てた状態で浴槽に対して斜めに差し込みます。
②左図のようにエプロンを回転させるようにしてエプロンと浴槽を正対させます。
③エプロンを持ち上げ、上端を浴槽の浴槽手スリに差し込みます。
④エプロンを持ち上げた状態で仕切板を排水溝にはめ込みます。
※この際、奥までしっかり押し込んでください。

6．ヘアキャッチャーの取付方法







①エプロンを取り付けた後、「ロック」と表示のあるツマミ部分を手前側に持って（左下図）、ヘアキャッチャーを排水口にはめ込みます。
②「ロック」と表示のある方向（時計回り）にヘアキャッチャーを仕切板の位置までまわして固定します。
③目皿を取り付けて完了です。

⚠注意

ヘアキャッチャーは必ず仕切板にロックしてください。
※ゴミやヨゴレが浴槽下に流れこむ恐れがあります。

換気扇・浴室暖房機・換気乾燥機のお手入れ

⚠ 警告

火事・ケガについての警告

ルーバー以外は分解したり修理･改造を行わないでください。
※**発火したり異常動作してケガをする恐れ**があります。

感電・ケガについての警告

換気扇のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。
※**感電やケガをする恐れ**があります。

⚠ 注意

故障・漏電に注意

暖房機や換気扇に水をかけないでください。
※**故障や漏電する恐れ**があります。

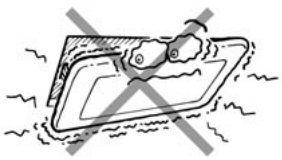
ヤケドに注意

暖房機の場合、運転停止後はすぐにヒーター等本体にふれないでください。
※**ヤケドをする恐れ**があります。

ケガに注意

高い所での作業になります。ホコリの落下や足場には十分にご注意ください。
浴槽やカウンター洗面器台の上にのって作業をしないでください。
※**ケガをする恐れ**があります。

ルーバーやエアフィルターは確実に取り付けてください。
※落ちて**ケガをする恐れ**があります。



ゴム手袋を使ってお手入れしてください。
※**ケガをする恐れ**があります。

タワシ、クレンザー、研磨剤、シンナー、アルカリ性および酸性の薬剤、塩素洗浄剤は表面を傷つけたり、変色、サビの発生の原因となりますので使用しないでください。漂白剤、カビ取り剤は必ずその取扱説明書を読み、目立たない箇所に付けてみて、変化のないことを確認してから使用してください。

長くお使いいただくために

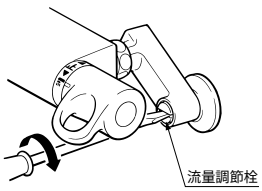
シャワーや吐水口からの水量が少なくなったと感じたら

ストレーナー等のゴミ詰まりは機能を低下させます。時々、次の要領で掃除してください。
アクアジェットについては別紙の取扱説明書をご覧ください。

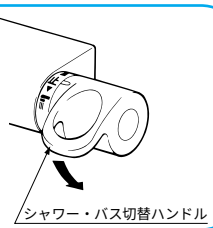
ストレーナーのお手入れ

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

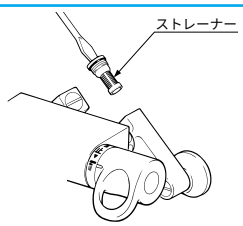
1 湯側（左）と水側（右）の流量調節栓を時計回りいっぱいねじ込みます。



2 シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側（下）に回します。



3 大形のマイナスドライバーでストレーナーを取り外し、ストレーナーのゴミ等を水で洗い流します。ストレーナーは、湯側と水側の両方に付いています。

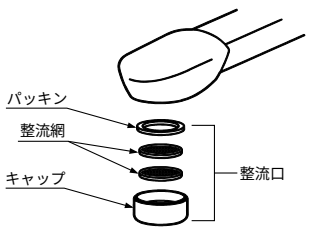


4 組付けは逆の手順で行い、流量調節栓は元の位置に戻します。

整流口のお手入れ

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

手でキャップを回して整流口を取り外し、整流網を水で掃除してください。

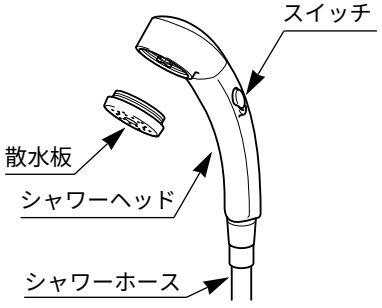


シャワー散水板のお手入れ

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

手で散水板を回して取り外し、水で掃除します。

※スイッチ付シャワーの場合、シャワーヘッドとシャワーホースは外さないでください。



※イラストはスプレーシャワー（スイッチ付（オプション））です。

照明用電球の交換

⚠ 警告

感電に注意

電球の交換は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
※ **感電やショートする恐れ**があります。

ぬれた手で交換作業をしないでください。
※ **感電やケガをする恐れ**があります。

電球の交換以外での照明器具の分解、改造は絶対に行わないでください。
※ **感電や火災、ショート、故障の原因**となります。

⚠ 注意

お取扱注意

電球および照明グローブの扱いには十分に注意してください。
※ ぶつけたり衝撃を加えると**破損の原因**になります。
※ ソケットの締込みは必ず行ってください。締込みが不十分だと**感電、ケガ、故障、動作不良の原因**になります。

浴室内リモコンのスイッチを大きな力で押したり、シールをはがしたりしないでください。
※ **火災や感電、ショート、故障の原因**になります。

交換時の注意

電球は必ず指定された種類、ワット数のものをご使用ください。
※ **故障の原因**となります。
●適合ランプ　ホワイト電球60Wまで　　●お勧め交換ランプ　LW100V54W

電球が切れてもすぐに交換しないでください。
※ 電球が熱くなっており、**ヤケドをする恐れ**があります。

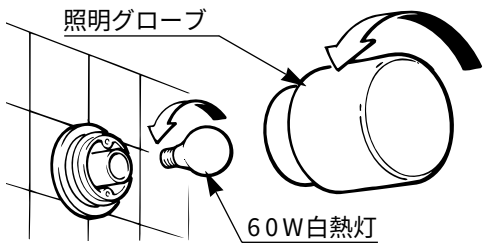
器具に直接水をかけないでください。また、照明グローブが変形または破損している場合はただちに取扱店または販売店へ点検を依頼してください。
※ **感電、ショート、故障の原因**になります。

電球の交換は高いところでの作業になります。足元に十分ご注意ください。
※ **ケガをする恐れ**があります。

白熱灯の交換

半球形・角形・円筒形照明の交換

1. 照明スイッチを切ります。
2. 照明グローブを左に回して取り外します。
3. 電球を取り外し、新しいもの（60W白熱灯）に交換します。
4. 照明グローブを右に回してしっかりと取り付けます。
5. 照明スイッチを入れて点灯することを確認します。



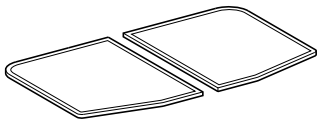
交換部品のご案内

INAXでは、お客さまご自身で交換可能な部品を用意しております。
なお、本項で紹介していない修理等はおやめください。

交換部品について

組みフタ

ご使用のユニットバスルームサイズによって、適合風呂フタが異なります。下表をご参照の上、お求めください。

	組みフタ	
		
サイズ	交換部品品番	価格（送料別途）
1217サイズ	YFK-1275B(6)-K	16,000円
1317サイズ	YFK-1375B(6)-K	17,000円

ゴム栓

交換部品名称	交換部品品番	価格（送料別途）
ゴム栓	RC-5G-L500	1,100円

注意

お客さまご自身で交換される場合は、鎖の付け根にあるリングを外して取り替えてください。
浴槽に取り付けてある金具を外すと、お湯が漏れる恐れがあります。

交換部品の購入方法

上記の交換部品の名称と品番をご指定ください。

販売店等で購入される場合	宅配サービスをご利用される場合
INAX商品の販売店、またはお近くのINAXショールームでお求めください。	（株）INAXメンテナンス宅配サービスにて承ります。 （宅配サービスの場合は、送料が別途必要となります。） **0120-00-1794** 受付時間9：00～17：00 （土、日、祝日を除く）

※ご必要になりました部品品番や、その他ご不明点については裏表紙のお客さま相談センターにお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

天井換気扇・浴室暖房機・換気乾燥暖房システム・アクアジェットについては各取扱説明書をご覧ください。
※自動湯張り・追いだき機能等の異常については給湯器の取扱説明書または給湯器本体にてメーカーをご確認のうえ、給湯器メーカーへご連絡ください。

部位	現象	原因
水栓	水の勢いが弱い。	ストレーナーが目詰まりしている。
		給湯の能力が不足している。
	湯温が上がらないまたは変動する。	給湯器の設定温度が低い。
		給湯器の適水量が少なくて点火しにくい。
		給湯の能力が不足している。
		ストレーナーが目詰まりしている。
		サーモスタット水栓の温度調整がズレている。
白熱灯	白熱灯が点灯しない。	電球がソケットにしっかりとはまっていない。
		電球の寿命が切れている。
排水口	流したお湯がなかなか排水されない。	排水トラップまたはストレーナーが目詰まりしている。

確認方法・対応方法	参照頁
ストレーナーの掃除をします。	32
浴室以外でできるだけ同時に湯を使わないようにします。	
給湯器の設定温度を上げます。	
給湯器の設定温度を下げ、適水量を多くする。（給湯器の取扱説明書をご覧ください。）	
浴室以外でできるだけ湯を使わないようにします。	
ストレーナーの掃除をします。	32
温度調節ハンドルを設定しなおします。（水栓の取扱説明書をご覧ください。）	
電球をソケットに確実にはめます。	33
電球を交換します。	33
排水トラップまたはストレーナーの掃除をします。	27

左記の対応をしても直らないときは修理を依頼してください。

アフターサービスについて

1.修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」（35ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店または(株)INAXメンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。

2.修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときはお買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

保証期間内は本書に記載の保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

1.おなまえ・おところ・電話番号
2.管理ナンバー・品番←P.39の「品番を調べる」参照
3.取付年月日
4.故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）←P.35の「故障かな？と思ったら」参照
5.訪問ご希望日

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの販売店、取扱店または(株)INAXメンテナンスに連絡してください。

●お求めの販売店、取扱店

●**(株)INAXメンテナンス**　365日受付＆修理

TEL 0120-1794-11
受付時間9：00～22：00

FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

3.部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、6年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。

※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4.定期点検のオススメ(有料)

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより2年たったもの

●温泉地域および海岸付近等、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの

定期点検については、(株)INAXメンテナンスまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料(技術料)+出張料+部品代(交換した場合)です。

5.浴室リフレッシュプラン(有料)のご案内

(株)INAXメンテナンスでは、

●浴室内の天井、壁、床、エプロン裏、水栓金具を用途にあった洗剤や研磨剤を使用して磨きあげる「バスルームオールリフレッシュ」

●日頃お手入れの行届きにくい浴槽裏側の床面清掃を代行する「バスタブ下部洗浄」

等のサービス(有料)をご用意しております。

ぜひ、お気軽にお申込みください。

お申込みに関するお問い合わせは、次のフリーダイヤルをご利用ください。

(株)INAXメンテナンス　365日受付＆修理

TEL 0120-1794-11
受付時間9：00～22：00

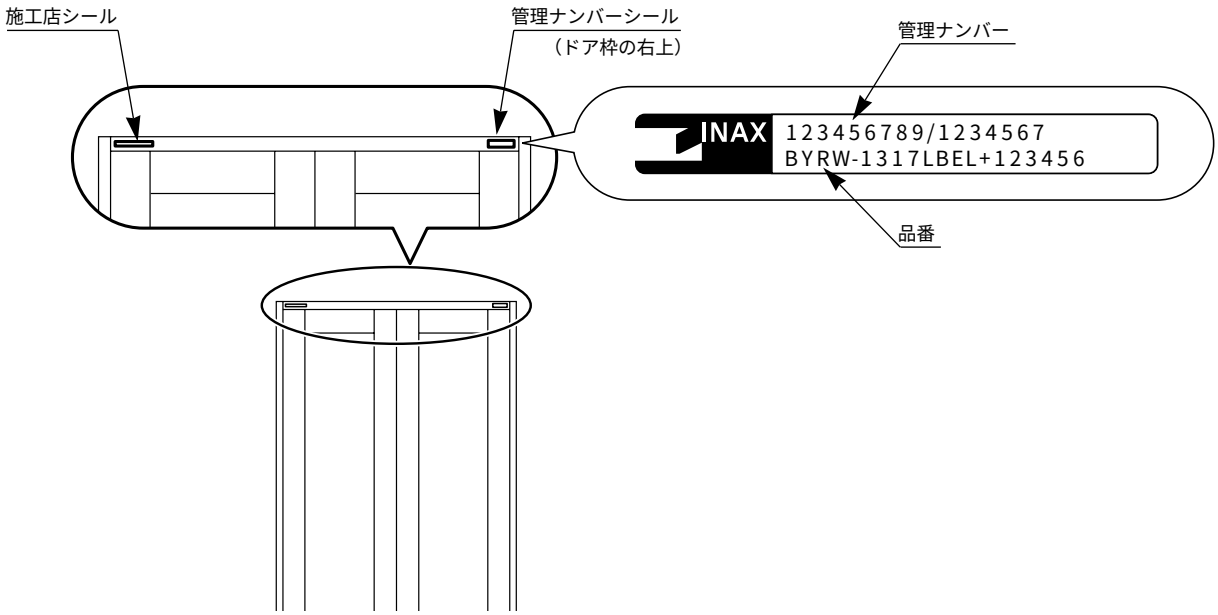
FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

品番を調べる・廃棄について

ドアに張ってあるシールを見る

浴室内ドア左側上部に張ってある管理ナンバーシールで管理ナンバー、品番をご確認ください。



廃棄について

FRP浴槽を廃棄処分される場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。
詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

浴室内に使用している主要部材は、ご覧のとおりです。

部位	種類	材料
床	—	FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）
壁	—	塩化ビニール樹脂金属積層板、石膏ボード
天井	—	ポリエステル樹脂金属積層板、石膏ボード
浴槽	FRP	FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）
	グランデV	基材…不飽和ポリエステル樹脂、ガラスフリット、FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）
エプロン	—	ポリスチレン
カウンター	—	基材…ABS、アクリル樹脂

※各部材の処分方法は市町村ごとに異なる場合があります。
　廃棄される際は各市町村にご相談ください。

保　証　書

品　　目　　名	システムバスルーム
シ　リ　ー　ズ　名	BYRWシリーズ

お客さま名	様
	住所 〒　　—
取扱店 または 販売店	印
	住所 〒　　—
	電話（　　）　　—
据付引渡日	年　　月　　日

無償修理保証期間
据付引渡日から2か年 ただし防水性能*は据付引渡日から5か年

＊防水性能とは「壁、床等から浴室外部への漏水を防ぐ性能」をいいます。

お客さまへ

保証書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保管してください。

無償修理規定（保証規定）

1. 「取扱説明書」・「注意ラベル」等の注意書に従った正常な使用・維持管理状態で無償修理保証期間内に故障した場合、無償修理いたします。
2. 無償修理をお受けになる場合、本書に記載の取扱店または販売店にご依頼のうえ、本書を提示ください。
3. 本書に記載の取扱店または販売店に修理を依頼できない場合は、本取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたは弊社の最寄りの支社、営業所にご相談ください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   ＊この保証書は本書に記載した期間、条件のもとにおいて、無償修理を行うことをお約束するものです。また本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
   ＊無償修理保証期間経過後の修理等、ご不明の点がございましたら本書に記載の取扱店、または販売店や本取扱説明書に記載のお客さま相談センター、弊社の最寄りの支社、営業所にご相談ください。

{免責事項}

無償修理保証期間内でも下記の各項に該当する場合は有償修理とさせていただきます。

1. 住宅の用途以外（例えば船舶、車両や使用頻度の高い業務用）に使用した場合の故障、損傷等の不具合。
2. 取扱説明書に準拠しない取扱い、日常の維持管理を行わなかったことによる不具合。
3. 施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・修理・分解等による不具合。
4. 引渡完了後、入居までの間の管理等の不備による不具合。
5. 不具合の原因が躯体等製品以外にある場合、および浴室ユニット工事範囲外に起因する不具合。
6. 色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の変化。
7. ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合。
8. 火災、落雷、地震等の天変地異、公害、ガス害、塩害等に起因する不具合。
9. 消耗品（パッキン、照明電球等）類。
10. 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による不具合。
11. 指定規格以外の条件・環境（電気・ガス・燃料・水圧等）に起因する不具合。
12. 浴室ユニット工事範囲外の給水・給湯配管からの錆等異物流入に起因する不具合。
13. 温泉水・井戸水等水道関連法令に定める飲料用水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。
14. 樹脂、金属に対して影響を与える洗剤、薬剤を使用したことに起因する不具合。
15. 本書の提示がない場合。
16. 本書に必要な事項の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合。

株式会社INAX

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

（株）INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00

受付時間　平日　　9：00～19：00
　　土日・祝日　10：00～18：00
　　（夏季、年末年始の休みは除く）

FAX 0120-1794-30

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの販売店または
（株）INAXメンテナンス

365日受付＆修理

TEL 0120-1794-11

受付時間9：00～22：00

FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

INAXインターネット･ホームページ･アドレス　http://www.inax.co.jp/

取扱店

GPU-0122(03020)